



北海道遺産

登別温泉地獄谷  
(登別市)

爆裂火口跡が生んだ「のぼりべつの湯」

地獄谷は北海道を代表する温泉地・登別温泉最大の源泉です。直径450mの谷底には大地獄を中心に15の地獄があり、毎分3,000ℓが湧き出している。登別温泉は「温泉のデパート」と形容され、多泉質が湧き出しており、これは世界的にも珍しい。地獄谷の周辺には表面温度が40～50度になる大湯沼、頂きから白煙が立ち上り、高山植物の名所としても知られる日和山、登別原始林などが広がる。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用)

## INDEX

- 3~5 全印工連オンラインフォーラム2020開催される
- 6 令和2年度全青協北海道ブロック協議会・第26回北海道青年印刷人フォーラム開催される
- 7 新型コロナウイルス感染症で影響を受けた中小企業・小規模企業へ専門家派遣のご案内
- 8~9 全印工連特別ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud」募集のご案内
- 10 北海道印刷関連業協議会令和3年新年交礼会のご案内

### 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <http://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



# 全印工連オンラインフォーラム2020 開催される

## 滝澤会長が全国組合員へメッセージ

全印工連オンラインフォーラム2020が、10月9日午後1時からYouTubeで開催され、滝澤光正会長から、全国の組合員に向けて熱いメッセージが発信された。

以下、滝澤会長メッセージの抜粋を紹介する。

(文責：編集部)



滝澤光正  
全印工連会長

**今**回の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、人々の暮らしや経済に大きな影響を与えている。日本においても4月から5月にかけて政府の緊急事態宣言が出されたこともあり、経済においては4～6月の

実質GDPが年率にしてマイナス28.1%と過去最大の落ち込みを記録した。人々の移動やさまざまな社会活動が制限された結果、印刷物の需要も大きく落ち込み、全国組合員の各印刷会社においても苦しい経営環境におかれている。

全印工連では、いち早く国に対する緊急の要望を行うとともに、各種支援策等の情報発信に努めてきた。

その後、組合員向け調査や各県工組理事長の皆さんからのヒアリングにより状況把握し、国会議員や政府に対し、継続的に印刷会社のおかれている現状を説明するとともに、追加の政策要望も行っているところである。

一方、以前より印刷産業の出荷額は減少が続いている。政府の工業統計によると、印刷・同関連産業の出荷額は1991年の8.9兆円をピークにその後減少が続き、直近の統計できらかになった2018年は4.8兆円まで減少している。それに加え今回のコロナ禍に見舞われているということである。

IT技術の進歩、デジタル化の進展に伴うメディアの多様化や、2004年から日本の人口が減少に転じていることなどが印刷需要減少の背景にあるが、今回のコロナ禍を経て、人々の価値観、生活様式、ビジネススタイルなど、社会はパラダイムチェンジともいえる大きな変革を迎えている。

バブル以降の日本は過去の成功体験にとらわれたまま、アナログメイン、集団主義、皆が同じ方向を見るなかでの効率化の追求を行ってきたと考えられるが、今回のコロナ禍では感染を防止するために有無を言わずデジタル社会に移行しつつある。言い方を変えれば新型コロナをきっかけに通常のペースよりも早く

未来に近づいているともいえる。

対面を避ける非接触、テレワークやリモート、キャッシュレス決済など、デジタル化が一気に浸透している。

新しい生活スタイル、新しい生活様式やニューノーマルとも言われているが、これらはこの先感染が収束した後も、もう完全にもとの形に戻ることはないと考えられ、同時に印刷需要の元通りの回復も望めない。

私は、会長就任時の事業計画基本方針において、私たち印刷産業は産業全体として、これからの社会経済にあった構造改革が必要だと訴えた。

全印工連では一昨年からブランドスローガンとして「Happy Industry人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業」を掲げているが、印刷産業がこれからもHappy Industryであり続けるためには、一社一社の組合員の皆さんとともに今後の社会の要請に応える産業の姿への構造改革が避けて通れないと考えたからである。

構造改革の具体的な取り組みとしては、(1) 効率の良いプロダクションによる収益改善、(2) ソリューションプロバイダーとしての価値の提供、(3) 人材の確保と育成である。

これら3つの要素からなる三位一体の改革が必要と思われる。

印刷産業の構造改革実現のための事業を今後も全印工連では積極的に展開していく。

### (1) 効率の良いプロダクションによる収益改善

効率の良いプロダクションによる収益改善のために、今年度、全印工連に新たに「デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進プロジェクトチーム」を設置した。

このプロジェクトチームでは、全印工連として、組合員の印刷会社同士がクラウド上で仕事の受発注を行えるネットワークシステム、プラットフォームの構築を行う。

私が昨年度まで委員長を務めていた全印工連産業戦略デザイン室では、一年間の議論を経て年度末に

「令和版構造改善提言」という成長戦略提言書を取りまとめた。

今年度、新設のDX推進プロジェクトチームのもとで、その具現化を図る。

この取組では、IT技術を活用し、各社の収益の見える化の促進と、組合員企業同士の生産の連携と効率化、産業全体としての生産性の向上を目指す。

紙の印刷物の需要が今後も減少していくなかで、これまでのように各社がそれぞれ単独で最新鋭の設備投資を続けていくことは現実的ではないし、難しくなっている。

先ごろ行われた国の印刷業における取引環境実態調査においても、多くの企業が法定耐用年数を超過した設備を使い続けていることが明らかになっているが、仮に設備の更新をしたとしても、投下資本の回収すらおぼつかない可能性にいやががして設備投資を控えていることが推測される。

各社が引き続きお客様へ価値を提供し続けるためには、組合の仲間同士による協調により、お互いに補い合い、生産設備を全体として最適化して生産性を向上させ、効率の良いプロダクションを図る。

各社はそれぞれ独自の経営戦略に基づいて差別化したお客様へのサービス、付加価値の提供や、また印刷製造における得意分野への集中、特化をしやすくするための仕組みを全印工連として用意することにより、印刷産業はこれからも成長を続ける情報コミュニケーション産業へと進化できると考える。

全印工連で共通のプラットフォームと言っても、利用する際はあらかじめアライアンスを組んだグループのメンバーの間だけで取引を行う。地域ごと、あるいは商材・アイテムごとなど、そうしたグループを組合員企業の皆さんそれぞれで作っていただき、各グループのなかで共通プラットフォームを利用して仕事の受発注を行う。そのプラットフォームを使ったからといって、いきなり全印工連組合員企業4,300社にその仕事

がオープンになるわけではない。

組合が構築するプラットフォームであるから、そのなかでは原価管理をしっかりと行って、発注者側には従来の外注費よりメリットの出る価格で、受注する生産者側では受注量が増えることによるコストダウンが実現できる、双方ともに収益に寄与できる仕組みを構築すべく準備をしている。

現状でも私たち印刷会社は、お互い仕事のやり取りをする上で、まだまだ手書きの伝票やFAX・電話による非効率な方法が取られている場面が多く見受けられるが、それらをIT、クラウドを利用したデジタルトランスフォーメーションを実装することで手間を省き、効率化する。

生産を助け合うことで資材のコストダウンや間接業務の極小化、業界全体として適正な生産力を維持することにより、過当競争による過度な価格の下落に歯止めをかけ、印刷産業全体としての健全な発展を目指す。

全印工連で構築するDXのシステムは、受発注をただ効率化させるだけの印刷通販とは異なり、そのグループに参加することにメリットがあると判断した企業同士のビジネスアライアンスである。

大小、規模さまざまな業態の印刷会社が参画し、それぞれの強みをシェアし合う場となることを目指している。

プロジェクトチームの皆さんには現在、今年度中のシステム構築、来年度、複数モデル地区でのトライアルを行い、その後必要なシステム改修を行った上で、全国の組合員の皆さんに使っていただける本稼働開始に向け精力的に活動いただいている。

全印工連が目指すこのデジタルトランスフォーメーションによる生産の効率化の考え方については、国が進めているデジタル化、デジタルトランスフォーメーション推進の方向性にも合致するものとして経済産業省から理解が得られ、国の補助金の支給をいただくことができた。

また、印刷市場の健全な発展を目指す効率化、生産性向上の仕組みについて、私どもから印刷機械装置製造メーカー各社にも説明に行き、各社からも理解、賛同を得られ協力をいただきながら進めている。

### (2)ソリューションプロバイダーとしての価値の提供

以前から全印工連では、組合員の皆さんに対し、単なる印刷物製造業から脱却し、お客様の課題解決業としてのソリューションプロバイダーへ転換しようという提言を行ってきた。

今、このパラダイムチェンジとも言える社会の大変革期において、その必要性はますます大きくなり、喫緊の課題であるとする。

人々の価値観が多様化し、社会が企業に求める姿勢も利益至上主義からESGやSDGsなど、「社会課題と経済の両立」や「持続可能な社会の実現」を求められるようになってきている。

それに対して私たち一社一社の印刷会社が貢献できる方策はもはや単一的なものではない。それぞれの印刷会社がそれぞれの地域で、それぞれのお得意様を始めとするステークホルダーの皆さまに対し、真剣にその課題に向き合い、各社の特徴や得意分野を活かしながらともに解決を図っていく、そうした企業行動が求められている。

組合としてはそうした考えに基づき、各社の経営戦略を定める上での有用な情報提供を各委員会の事業を通じ引き続き行っていく。

### (3)「人材の確保と育成」について

政府が推進している働き方改革、この課題に対し全印工連では、印刷業独自の、生産性を落とさない「幸せな働き方改革」プロジェクトを推進してきた。

日本では既に人口減少が進んでおり、今後ますます高齢化が進み若者の人口が減り、担い手の減少が見込まれる。

人口が減るなかで生産力を維持するためには、一人あたりの生産性を上げていく以外方法がない。

印刷業がこれからも魅力ある産業であり続けるためには、すべての人が安心・安全に働ける、多様な働き方に対応した職場づくりが不可欠である。

そのための「幸せな働き方改革」である。

プロジェクトチームの委員の皆さんの尽力により、全印工連「幸せな働き方改革」は、今春までにSeason1からSeason5までのテキスト刊行を完了し、既に全国の組合員各社にこれらテキストの配布を終えている。

そのなかでは私たち中小印刷会社が自社で働き方

改革を実践する方策、仕組みづくりについて専門家の助言も得ながら詳述している。

全印工連では、この「幸せな働き方改革」をしっかり理解いただき、実践していただくため、それぞれのステップに応じたセミナーパッケージも用意しており、このほどステップ4、5のセミナーも開催準備が整った。

幸せな働き方改革以外のセミナーも含め、従来は各県工組にセミナーを設営いただき、全印工連から講師を派遣する形をとっていたが、今般の社会情勢の変化に対応するため、セミナーのリモート化やウェブアーカイブ化も積極的に進めている。

以上、話した以外にも、全印工連ではCSRや環境、個人情報保護の認証制度、従業員の皆さんのスキルアップにつなげる制度教育事業や国家資格である技能検定の推進、雇用確保支援事業、事業承継支援事業、スケールメリットを活かした各種共済や共同購入事業など、組合員各社の企業価値を高める事業メニューを幅広く行っている。

特に、多くの組合員の皆さんに利用、好評をいただいている全印工連特別ライセンスプログラム事業については、契約本数の順調な増加により、本年12月から一部商品の利用料金引き下げが実現できたので、詳しくは全印工連の専用ウェブサイトや今後の広報誌等で案内する。

私たち印刷産業自らがすすんで構造改革に取り組むことは、サプライチェーンでつながる周辺産業にもその効果をもたらし、そのことは合わせて大切な私たちのお客さまへの新たな価値の提供を可能にすると同時に、地域経済の活性化をも実現していくものと確信する。

今後も組合員の皆さんには、組合が発信する情報を的確に捉え、積極的に自社の企業経営に活用してほしい。

組合員各社がソリューションプロバイダーとしてHappiness Companyになることが、印刷産業全体として社会に貢献できる産業としての地位向上につながる。

苦しい経営環境の今だからこそ同じ業界の仲間として集い、志をともにし、お互いの連帯を強固にして印刷産業の明るい未来を切り開いて参りたいと心から願っている。

ともに手を携え改革に果敢に挑戦して行こう。

※全印工連オンラインフォーラムは、全印工連ホームページで視聴できる。

URL <http://www.aj-pia.or.jp/of2020/>

# 令和2年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会 第26回北海道青年印刷人フォーラム 開催される

令和2年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会ならびに第26回北海道青年印刷人フォーラムが、10月10日 午後1時30分からTKP札幌ビジネスセンター赤れんが前で開催されました。

**コ** ロナ禍のなか、初めてのZoomを併用しての開催となりました。

集まること自体が難しい状況のなか、会場に19名のご参加を頂き、Zoomでは他ブロックから6名のご参加を頂きました。

ブロック協議会では、今期の全青協テーマである四方よしの説明から始まり、四方よしを実現するためにデザイン思考を学んで行きました。

何故デザイン思考が必要なのか？を今井議長より説明があり、デザイン思考とは何か？どのように活用していくか？を井上指名副議長が講師となりセミナー形式で行いました。

デザイン思考とはデザイナーの考え方を活用し潜在的な問題を見つけ解決する手法であり、ユーザー目線に立ち感情から問題の原因を探り、問題の共通点や違う目的を結合させることで発想を飛躍させ問題を解決して行きます。

次のプログラムでは、実際にデザイン思考を使ってアイデアを出してみるワークショップを行いました。

「コロナ禍の中で印刷会社に出来る事」をテーマに、デザイン思考を使ってアイデアを出してもらいました。



最初は参加者も戸惑っていましたが、話が始めると各テーブルで気づきの瞬間があり、違う視点から問題をとらえ、解決方法を考えられたと思います。

このワークショップのZoomメンバーで出たアイデアで、Zoomとリアルな距離を縮めるための共感ボードは、その後、他ブロックで行われたブロック協議会で実際に活用されています。

コロナ禍での開催は賛否あるかと思いますが、売り上げが下がっている印刷会社が多いなか、打開策を考える一助にはなったと思います。

(青年部委員長 矢吹英俊 記)





北海道

新型コロナウイルス感染症中小・小規模企業緊急総合支援事業委託業務

新型コロナウイルス感染症で影響を受けた  
中小企業・小規模企業の皆さまへ

# 専門家派遣のご案内

派遣費用  
無料

北海道の委託を受け、新型コロナウイルス感染症により、経営に影響を受けている  
中小企業・小規模企業の皆さまを対象として、無料で専門家を派遣します。  
資金繰り、雇用環境、助成金・給付金など、各々の課題に応じた専門家を派遣し、  
オーダーメイド型の助言・指導を行うことにより、継続的な事業活動を支援します。

## 課題に合わせたオーダーメイド型の助言・指導



### 支援対象者等

新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている道内中小企業・小規模企業の皆さまに対して、専門家を2回程度派遣します。



### 派遣内容

資金繰り、雇用環境、助成金・給付金などに関するアドバイスを行います。



### 派遣専門家

中小企業診断士、弁護士、公認会計士、税理士、行政書士、店舗コンサル、社会保険労務士等を派遣します。

## 申込方法

次の方法で申込みください。内容を確認後、担当者から折り返し連絡いたします。

### Web申込み

<https://www.shindan-hkd.org/corona/>

URLまたは右のQRコードからお申し込みください。



### FAX申込み

FAX: 011-231-1388

申込書に記入の上、FAXにて送信ください。

### 電話申込み フリーダイヤル

☎ 0800-800-2551

相談ダイヤルに電話いただき申込みください。

専門家常駐 受付時間 [月~金] 13:30~16:30

## 新型コロナウイルス感染症対策 経営支援センター

[一般社団法人中小企業診断協会北海道]

事務局 〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目毎日札幌会館4F

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため直接来会することはお控えください

TEL: 011-241-8556

FAX: 011-231-1388

[corona@shindan-hkd.org](mailto:corona@shindan-hkd.org)

加入者が増えて  
さらにお得に！



# Adobe Creative Cloud

## 全印工連 特別ライセンスプログラム募集中！

～現契約・新規契約も2020年12月1日よりコンプリートプランをさらにお安くご提供します～

契約 加入月より  
期間 随時受付中 ▶ 2022 **11.30** まで

※お支払いは一年ごと。ライセンスの追加は  
できますが、プランの変更、解除、脱退、返金  
はできません。

お申込みは、全印工連ホームページ「特別ライセンスプログラム」より

※お見積りWEBサイトパスワード：ajpia22

全印工連



### コンプリートプラン

**Ai Ps Id** 他20種以上のAdobe Creative  
Cloud全アプリケーション

### 単体プラン

Adobe Creative Cloudの中から  
必要なアプリケーションを1つずつ

### 全印工連組合員企業向け特別価格 (税別)

Complete 法人版 通常価格

**95,760**円/年  
(7,980円/月)

全印工連CC コンプリートプラン

~~82,200~~円/年 (6,850円/月)  
さらに▼お安く!!!

**14,760**円  
OFF!!!

**81,000**円/年 (6,750円/月)

単体版 通常価格

**45,360**円/年  
(3,780円/月)

全印工連CC 単体プラン

**30,000**円/年  
(2,500円/月)

**15,360**円  
OFF!!!

Acrobat Proのみ

**22,560**円/年  
(1,880円/月)

全印工連CC Acrobat Proのみ

**20,400**円/年  
(1,700円/月)

**2,160**円  
OFF!!!

ご利用料金は1年単位でお支払いいただきます。年度途中における新規ご契約分につきましては、月割計算で請求させていただきます。

※2020年12月1日の契約時点でコンプリートプランを50本以上お申し込みの場合は5%の割引、100本以上お申し込みの場合は8%割引で、上記価格よりさらに割引いてご提供します。(いずれも割引対象はコンプリートプランのみ)

## メリット

- 1 常に最新＋サービス**
  - ・1TBのクラウドストレージ  
(コンプリートプラン・単体プラン共通  
※Acrobat Proは適用外)
  - ・Adobe Fonts
  - ・共有アセットライブラリ
- 2 ローコスト**
  - コンプリートプランなら、  
2年で29,520円お得！
  - 単体プランなら、  
2年で30,720円お得！
- 3 専用サポート窓口**
  - 全印工連会員専用の電話・  
Webによるテクニカル  
サポート窓口
- 4 無料セミナー**
  - テクニカルセミナーを年2回  
開催 (1ライセンス1名)

## 参加条件

- (1)参加資格：全印工連加盟47都道府県印刷工業組合に所属する「組合員企業」
- (2)契約期間：加入日より2022年11月30日まで ※契約途中でのプランの変更・解除・脱退・返金はできません
- (3)参加条件：参加するためには、以下の諸条件についての同意が必要となります
  - ①契約期間中は全印工連がサブスクリプション（期限付き使用权）の管理を行います。
  - ②契約期間中に購入本数に対して利用本数が減った場合（あるいは利用しなくなった場合）でも、その払い戻しはいたしません。但し、新規ライセンス数の追加（有料）は可能です。
  - ③契約内容につきましては、別途、契約書をご確認ください。

※Adobe Creative Cloud (CC) は、一定期間の使用权を購入する、サブスクリプション（期限付き使用权）形式の製品です。

※ご利用にあたっては、申込み時にAdobe ID（メールアドレス）の登録が必要になります。

## 主要アプリケーション一覧

### コンプリートプラン



### 単体プラン (以下から1つずつ)



### Acrobat Pro



## 全日本印刷工業組合連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 (特別ライセンスプログラム担当)

TEL : 03-3552-4571 FAX : 03-3552-7727 <http://www.aj-pia.or.jp/>

掲載内容は2020年9月1日現在のものです。予告なく内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。



# 北海道印刷関連業協議会 令和3年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和3年新年交礼会が下記により開催される。



和3年新年交礼会は、新北海道スタイルを遵守し、新型コロナウイルス感染症拡大防止ならびにご参会者および関係者様の健康・安全に細心の注意を払い運営される。

今回の交礼会は、円卓着席（席指定）で会食が行われる。

参会者には新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テーブル間を移動しての挨拶等は、自粛いただくことを原則としている。

参加申込みは、12月10日まで、各所属団体または北海道印刷工業組合で受付けている。

## 記

日 時	令和3年1月8日(金) 午後5時
会 場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
会 費	10,000円

# 感染防止対策として、

## 北海道スタイル と

## 7つのポイントプラス1 の

# 徹底をお願いします。

### 道民の皆様は、北海道スタイルを徹底



### 事業者の皆様は、7つのポイントプラス1を徹底



北海道

道庁 コロナ

検索



北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター  
0800-222-0018 (フリーコール)

※札幌市・旭川市・函館市・小樽市にお住まいの方は、  
各市の保健所へお電話ください。